

平成17年11月22日

「第一生命CSRレポート2005」の発行について

第一生命保険相互会社（社長 斎藤勝利）は、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）に関する活動内容を明確にお伝えするために「第一生命CSRレポート2005」を発行しました。

近年、ライフサイクルの変化などに伴い、世の中のニーズは多様化する一方で、従来以上に自助努力が求められるようになってきています。このような中、不確実な将来に対する自助努力の手段として相互扶助に基づく「生命保険の社会的役割」は、ますます重要性を増しています。当社では、この「生命保険の社会的役割」をCSR経営の原点と位置づけ、本レポートで、その具体的な考え方や取組みの現状等についてお伝えしています。

具体的には、「社会からの信頼の確保」、「最大のお客さま満足の創造」、「職員・会社の活性化」という当社の経営基本方針の目指す姿を実現することを当社のCSR経営として、それらに向けた取組みや将来に向けてのビジョンをわかりやすく伝える内容としています。

当社では、本レポートをステークホルダーの皆さまに当社の考え方やその実現に向けた取組みを報告するコミュニケーション・ツールと位置づけ、今後さらなるコミュニケーションの強化に取り組んでまいります。

あわせて、当社の取組みに対するご理解を一層深めていただくために、引き続きアカウントビリティの向上に努めてまいります。

本レポートの概要

1. 仕様

A4版 カラー50頁 45,000部発行

本レポートと同様の内容を当社ホームページで公開予定です。

（URL：<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>）

2. 主な掲載項目

- （1）当社のCSRの考え方
- （2）CSR推進体制
- （3）コーポレート・ガバナンス
- （4）社会貢献活動、環境問題・人権問題への取組み
- （5）お客さまの声に応じた質の高い商品・サービスの提供
- （6）個性と能力が発揮できる「活力と魅力溢れる会社」の実現 など

3. 特徴

- (1) 経営基本方針に示す当社が目指す方向性に沿って活動内容をお伝えしています。
- (2) 基本的な考え方や現状を出来るだけわかりやすく記載し、当社の各取組みに対するご理解を深めていただけるよう心掛けました。また、わかりやすい情報提供を実施するため、イラストやグラフなどを用いて簡潔に表現にすることを心掛けました。
- (3) 国際的なガイドラインである GRI(*1)の「サステナビリティ・レポートング・ガイドライン 2002」と「日本経営品質賞(*2)アセスメント基準書(2005年度版)」を参照して作成しています。
- (4) 本レポートを今後改善していくために専門家である第三者の評価を受けることが重要と考え、一橋大学大学院商学研究科教授の谷本寛治氏よりご意見をいただき、「第三者意見」として掲載しています。
- (5) 地球環境に配慮し、古紙 100%再生紙を全ページに使用し、植物性大豆油インキを使用して印刷しています。

* 1 . Global Reporting Initiative の略。「持続可能性報告書」のガイドライン立案を目的に 1997 年に設立された国際的組織。

* 2 . 1995 年にわが国の企業・組織が国際的にも競争力のある経営構造への質的転換を図ることを目指して社会経済生産性本部が創設した賞。当社は、日本経営品質賞に幹事企業として参画するとともに、この賞に含まれる「経営品質向上プログラム」を経営に取り込み、2001 年には金融業界で初めて日本経営品質賞を受賞しました。